

## 第 53 回防府読売マラソン大会

### 【出場結果】

実施日 : 12月4日(日)

コース : キリンレモンスタジアムソルトアリーナ防府前県道→防府市大字田島折返し  
→キリンレモンスタジアム陸上競技場(42.195 km)

出場者 : 親崎 達朗

リザルト:

LAP ( )は5 km毎のLAP	親 崎
5 km	15'43"
10 km	31'36" (15'53")
15 km	47'24" (15'48")
20 km	1:03'32" (16'08")
ハーフ	1:07'12"
25km	1:19'48" (16'16")
30 km	1:36'45" (16'57")
35 km	1:57'08" (20'23")
40 km	2:17'28" (20'20")
GOAL	2:26'21"
順位	40位/1760名

### 【レポート】

今年27歳を迎える入社5年目の親崎が、これまで数々の日本を代表するランナーが名勝負を繰り広げてきた第53回を数える防府読売マラソン大会で、満を持してフルマラソンデビューを果たしました。

親崎は入社以来、5000m、10000m、ハーフマラソンと幅広い種目で、自己ベストを更新しており、狙ったレースは外さない抜群の安定感を誇る選手です。

フルマラソンへの挑戦は、計画的に夏からマラソンを意識したトレーニングを始め、レースとしては未知数の距離となりますが、2時間18分を切るタイム設定を行い、来年3月に行われる東京マラソンのエリート枠での出場を狙ってレースに臨みました。



男女の一般、エリートランナーが一斉にスタート

当日は冷たい北風が吹く生憎のコンディションとなりましたが、親崎は目標タイムを目指し、1km3分10秒程度のペースを確実に刻み、序盤のレースを進めました。

序盤は身体も軽く、トラックで磨いた軽快なピッチを刻んでハーフマラソンも1時間7分12秒で順調に通過し、目標とする2時間18分切りにも期待が高まりました。



軽快なピッチでレースを進める親崎

25kmまでは理想とする走りでレースを進めました。25km以降は強い向かい風が親崎の軽快なピッチを鈍らせ、1km3分20秒以上のペースに落ち始めると、30km以降は更にペースを落とし、ジョギングペースとなってしまいましたが、最後まで諦めず総合40位となる2時間26分21秒でゴールしました。



初マラソンにチャレンジした親崎

## 【総 評】

普段のトラックレースや駅伝等のロードレースでは、常に高いレベルの結果を安定して残し、チームにとって欠かせない選手ですが、今回チャレンジした初マラソンでは、冷たい北風が吹き荒れる厳しいコンディションの中、終盤は大きくペースを落とし、マラソンの洗礼を受けた形となりました。

マラソンはトラックレースやロードレースとは異なり、実際のレース経験を積むことで精神的にも肉体的にもその距離を攻略するために何が必要か理解出来る部分があるため、今回の初マラソンで得た課題を次のマラソンに活かすべく、親崎らしく一步一步、着実に力をつけて欲しいと感じます。

今回は親崎が初マラソンにチャレンジしましたが、チームの若手選手達も積極的にマラソンにチャレンジして競技人生の幅を広げてくれることを期待します。

今後とも、皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上